

長友市長

そうすると、今おっしゃったのは明るさと、それから操作のしやすさ、この2つですか。

市川（富士見町3丁目）

それと、前の8階はとてもよかったです。ちょっと薄暗くて、個人的に困ってあって。本当に……

長友市長

明るさと操作のしやすさとスペース……

市川（富士見町3丁目）

今は、ちょうどこんな部屋ですよ。そっちのほうに5台並んでいるだけで。今度操作はうんと難しいし、私みたいな年寄りはとても覚えられません。もう私も87歳ですから。

長友市長

わかりました。今おっしゃっただけでも3つぐらいのことが改善の余地があるかということですから、私のほうから回答を求めて、改善の余地があるのかどうか確認をしてご連絡します。

市川（富士見町3丁目）

昔の状態で十分なんです。ソファーもありましたし。今はもうとても若い者向けで、私なんかだめです。

長友市長

わかりました。

市川（富士見町3丁目）

いすも悪いといっちゃ失礼ですが、ソファーじゃないし。

長友市長

あす、すぐにそういうお申し出があったということは伝えてみますので、ちょっとお待ちください。これは答えを返すようにします。

市川（富士見町3丁目）

その1点で私、きょうは来ました。

長友市長

はい、わかりました。

司会者

よろしいでしょうか。 それでは、次の方、いかがでしょうか。奥の男性の方。

中場（深大寺東町7丁目）

深大寺東町の中場と申します。よろしく申し上げます。

先ほどその八十何歳の女性の方のお話を聞いていてわかったのですが、今の質問はたづくりの視聴覚コーナーのことですよね。機械のこととか言っているのですよね。気がつくと、映画とかのビデオのコーナーが移転していたということでしょうか。しばらくちょっとみかけなかったの。僕、調布市に来てからまだ8年か9年しかたっておらず、その図書館の会員になったことがまだ一度もなく、今度みつけたら、ぜひ図書館のカードをつくったついでにそこに入ろうかと思っていまして、余りお金もかからないので、僕みたいな若い人だったらいつ入ってもおかしくないと思ったので、今思い出しました。よろしいでしょうか。

司会者

ありがとうございました。ぜひ図書館をご利用いただきたいと思います。

次にいかがでしょうか。それでは、眼鏡をかけた青いシャツのご主人。

竹中（富士見町4丁目）

4丁目の竹中と申します。私は25年ぶりぐらいに調布へ引っ越してきました、今1年半ぐらいのところであります。ですから、いろんな要望というよりは、この市の会合を開いていただいた感想なども含めて、地域密着のことでいろいろしようとしていらっしゃるのです、うんと身近なところでの改善提案を2、3点したいなと思っております。

市長の声を直接聞くふれあいトークンという事で、市の関係者も来られて、地域密着の生活実感から市政を改善していこうという形で、こういうふうにして会合をもっているという事は、とても素晴らしいことだなというふうに思っております。市の職員の方々は、職務で来られて残業代を当然もらえるか、ボランティア精神でされるかは別問題としまして、ともかくこういう形で生活に密着した話を聞かれるということであるのは大変素晴らしいことだなというふうに思っております。

それから、25～26年ぶりに来ましたので、市役所の窓口の対応がよくなったことについては、大変評価すべきだなというふうに思っております。私が直接窓口に行けるのは市民課か税務課か、そちらになるのですが、ひところは、役所みたいだねという対応の悪い代名詞であったわけですが、少しでも窓口が込んでいたら、かわるがわるにみんな来られたり、みんなで顧客満足のことを意識して、ひところに比べると対応がすばらしくよくなったなというふうに感じております。

ただ、顧客満足度のすぐれた民間企業からみると、清潔、整頓だとか、そういう職場環境のことだとか、市民をお客さんとするならば、お客さんの目線からみたことには改善すべき点がまだ多々あるなどは思いつつ、大変にすばらしい改善だなというふうに感心しているというか、そういうのが現在の長友市長のリーダーシップのゆえであろうというふうに思いつつ、二十数年前に比べると大変いいふうに変わったなというふうに感じております。

地域密着の要望をちょっと申し上げたいんですが、身近なところから市政を改善していかないと、都政も国政も変わらないと思いますので、身近なところの変えたいことは、やっぱり安全なのですよ。できれば、特に次の世代をしょっていく子供たちの安全ということで、この地域ですと調布中があり、石原小があり、保恵の幼稚園、保育園がありますけれども、その通り道にこの狭い道があるのですが、どういうわけか、天文台通りから甲州街道に出るところが、朝、非常に込むものですから、そこをバイパスして、調布中から保恵の前を通過して甲州街道に抜けるという車がとても多いのです。その事態がまさに中学校、小学校、幼稚園の通学時間帯とダブりますので、その時間に車が非常に急いで猛スピードで、この先のすぐそこに一たん停止の標識がありますが、そんなのは無視して走っていくようなことで、私はほどなく取り返しのつかないような事故が起きるのじゃないかなというふうに思っております。時間でもよし、それから地域住民の人たちが一方通行になると困るという方もいるかもしれませんが、地域住民だけは使えるようにしながら、要は一方通行にしていだけないかなというふうに思うわけです。

朝、一番危険を感じるのは、こちらの天文台通りから甲州街道へ出るところにパスしていかうとする車が多いわけですから、そちらに行けない一方通行にするとか、要は一方通行にでもしないと、近々子供たちに取り返しのつかない事故が起こるのではないかなというふうに不安を感じております。

それから、ここを出て、味の素スタジアムに出るところに、この道も非常に狭いわけですが、私はこの間、体験したのですが、固有名詞でどなたかを非難しようというのではありませんが、すぐそこに、電機さんの裏に大型トラックの車庫がありまして、運輸さんという車が何台もとまっております。この道路は標識をみると、3トン車かなんか、大型車は入れないことになっております。だけど、この間も事故直前のものを目撃したものですから、私もそれに巻き込まれたのですが、危ないじゃないですかと。こんなところ、大型車は入れないでしょうといったら、いや、許可をとっておりますと。きっと警察の許

可をとっているのだと思います。私は許可の条件に、あんなどでかい資材を積んだ10トン以上ぐらいの大型車がこんな路地に入ってくるのだったら、車庫があるのだから入るのは仕方ないとしても、せめて誘導をする人をつけてほしいと。あのときに、もしたった1人の運転手がどでかいトラックをあそこの入り口の道路標識をぶっ壊しながらバックしてきて、白い杖をついた人が、こうして前もみえなくて歩いていたら、高齢の方が歩いていたら、自転車に子供を乗っけて歩いていたら、間違いなく事故に巻き込まれるわけですので、ゆえあって許可をされるのだったら誘導をつけるというぐらいの安全対策をしていただきたいということなのです。

それからもう1つは、子供はこれから大事ですので、この近くには高速道路の下に、幸いなことに公園があります。さんのところの前にくるぐる公園というのがありますし、西調布のところにもありますが、あれは雨の日などはとても便利なのですが、あの公園の管理主体がどこにあるかは私は存じ上げませんが、西調布のほうに比べると、こちらがいつも何か汚かったり、滑り台の上におやしりじゃないけど、そういう人たちがたむろした後のように、小さい子供たちが滑り台を利用するのに上のほうに空き缶が置いてあったりとか危険な状態があって、その都度、子供たちが滑る前に何か危険物がないかと私はチェックしたりはしますが、そういうところを、できれば安全対策を最優先ということで、地道に対応をしていただければなというふうに思います。

以上です。

司会者

ありがとうございました。それでは、市長、よろしく願いいたします。

長友市長

ありがとうございました。ご感想をおっしゃった部分も含めて、手短かに私のほうから申し上げたいと思います。

そうですね。こういう場は続けていこうと思っております。きょうも本当にこんな夜の忙しい時間帯にたくさんの方に来ていただいた。ただ、否定的にいいますと、この形式でやるのは年間10回ぐらいです。いろんな地域で。ほかのテーマでもっといろいろやりますが、こういうテーマを決めないで各地域を回るのは年間約10回ぐらいです。そうすると、逆にいえば、せいぜい200～300人かなということもいえるのですが、ただ、そうはいいながらも、やっぱり私としても、生の声をお聞きするというのは貴重だなということがありますので、今後とも続けていこうと。ただ、是正点をいつもみつけながらやっていこう

とは思っております。

それから、市役所の窓口対応について、大変褒めていただいております。ただ、そういう通常何事もない対応があるのが当たり前だということで、余り褒めていただくことはなくて、逆に時々説明が悪い、それから居丈高だというようなおしかりをいただく。ぞんざいだ。そういう声はあります。市長としてどう思っているのだということ、を時々問われますので、今のご感想につけ加える形で申し上げますと、この中で異論があったらぜひ教えていただきたいのですが、私自身は、そんなに悪くはないと思っております。ただし、先ほど顧客満足度、CS度ということは、やっぱり我々も意識せざるを得ない。30年前、50年前とは違う環境でありますから、違和感をもたれる、それから明らかにこちらに手落ちがあるという対応が残るといことは、まだまだ甘いと思っておりますので、号令をかけ続けていきたい。

正直に申し上げますが、やっぱり長年の折というものがあります。それから、比較をされない公的機関で50年以上やってきたということがあります。乱暴なことを申し上げますが、私は組織に属したことの無い方は、今後は首長は難しいのではないかと自分では思っておりますが、そういう感覚で対処していきたい。今のは、難しいというのは言い過ぎだとすれば、そういう感覚が必要だといいかえてもいいのですが、そういうふうにして組織を厳しくみていきたいなと思っております。

整理整頓については、おっしゃるとおりだというふうに思います。

あと、地域密着型で、安全・安心、一方通行の問題、大型トラックの扱いの問題、それから高速道路下の公園のスペースの問題と3点のご指摘。それぞれごもっともだと思います。私、今ここでちょっと即答はできないのですが、市独自で考えられるもの、それから警察の意見を求めるもの、それぞれあるかと思いますが、今のご指摘を受けた点については、お答えを差し上げるようにさせていただきますし、もし、今この3点で何かつけ加えることがあれば……。いいですか（「僕、答えられますよ。警備員をやっていたことあるので」の声あり）。どうぞ。

杉本（上石原3丁目）

さっきの質問ですね。はっきりいって、それは違法ですよ。上石原の杉本ですが、長友さんが答えられなかったら答えますよ。要するに、それは違法工事なのです。なぜかという、誘導員がいなかったら、安全確保もないですよ。それは税金を使ってやっていることでもあるのですよ。警備員として。もとですけどね。いていたのは命の問題で

すよね。

竹中（富士見町4丁目）

そうです。つえをついた人が、車いすに乗っていらっしゃるお年寄りの方だったら、間違いなくひかれていたのですよ。私は自転車に子供を乗っていたから、さあっと、こうして何とかしましたけど、自分も足をこすったりしましたけどね。

杉本（上石原3丁目）

いいたいのは、個人個人の意識が低いということですよ。自分はそう聞こえますが、自分、自慢じゃないですが、渋谷の山口会系の隣の建設現場に行ったこともありますけど、半端じゃないですよ。ちなみに言葉なんか通じませんから。警察に協力を求めるのが一番いいのじゃないですか。そのために警察ってあるのじゃないですかね。法律で。自分はそう思いますよ。長友さん、一個人にいわれなくなかったら。そう思いますよ。根本的に警察の意味を考えたほうがいいですよ。

長友市長

補っていただいてありがとうございました。今のお話もちろん含めてですけれども、おっしゃったところを我々も特定して……

竹中（富士見町4丁目）

ここからこう出て……

長友市長

いやいや、そうではなくて、我々としてもおっしゃったことの確認をとらせていただいた上で、それから一般的にそういうものに対する対処を確認した上でお答えを差し上げます。なるべく時間をかけずにさせていただきたいと思います。

竹中（富士見町4丁目）

一般的には入れないところだけでも、許可をとっているから入れるというふうになっていると思いますから。その許可条件に、あんな大型トラックだったら、入るときぐらいは誘導員を入れてほしいということなのです。

長友市長

おっしゃることは、お聞きする分には、恐らくそうだろうなというふうに思います。少し確認をさせていただいた上で、先ほど申し上げましたように、市独自で考えること、それから警察に相談をしてというもの、今おっしゃった3点にそれぞれ分かれると思いますけれども、ご返答を差し上げるようにいたします。

司会者

よろしいでしょうか。 それでは、こちらの女性の方。

武子(陽)(国領町5丁目)

初めまして、こんばんは。国領町5丁目の武子と申します。市長にお尋ねしたいことが何点かございます。

私が今手元にもっておりますのは、「調布市民意識調査報告書 平成18年度版」というのがございます。この中に、調布市の産業振興に関する記載が131ページぐらいからでしょうか、何点か載っておりますが、産業に関して、産業というと大変幅広く私たちは認識しますが、市長のお考えではどういうふうに……。調布市の産業は何を考えていらっしゃるのか、ちょっとお尋ねしたいのですが。まず1点、お答えをお願いいたします。

司会者

済みません。幾つか、何点か。

武子(陽)(国領町5丁目)

枝分かれでお話をさせていただければと思います。

司会者

一問一答ということではなくて、もしご質問の内容があれば、何点かまとめておっしゃっていただきたいと思います。

武子(陽)(国領町5丁目)

まずそれに関してお答えをいただいてから具体的なお話に入らせていただきたいと思っております。

長友市長

ありがとうございました。産業振興といわれると、産業全部を指しておられるのではないのかどうかちょっとよくわからないのですが、私は調布市内の産業振興まで、まず地場に根差したことだけをお答えいたしますと、いかにして商業を活性化するかということをお答えしたいと思います。

そういうような中にありまして、今、幾つかポイントはあるのですが、1つは、ご存じのように京王線の連続立体交差事業があと何年かかかりますが、完成して、国領、布田、それから調布駅が地下化になって、上部利用が今問われていると。市民の方に意見をいただきながら、利便性が高く、潤いのあるような空間を、駅前広場と、それから鉄道のレールの軌道式のところをどうするかということをお考えしているということでございますから、

何といっても、これが現在の調布市でいえば、考えに入れなければいけない1つの大きなポイントであると。こういうところに潤いをどうやってつくっていくかということ。潤いをどうやってつくっていくかというものはそのスペースだけに限ったことではなくて、人の流れを考えなくてはいけない。それは、今申し上げましたような駅前広場とそれをつなぐルートだけではなくて、例えば甲州街道の旧道をどう組み合わせるかというようなことを含めた人の流れを一生懸命考えていく。そのために今やっておりますことは、各商店街、調布の中には三十幾つあるのですが、そういうようなところから挙がってきた声、それからそれを取りまとめた商工会の意識というようなものを反映させていただいて、プラス、その意識調査のねらいにもありますように、一般の消費者、市民の方の意識というものも組み合わせせて考えていこうと。早口で申し上げましたが、これが1つのポイント。

それからもう1つは、そういうふうな時代に見合った、京王線の連続立体交差も意識しながらまちづくりを考えていく中で、旧来からの自然のスポット。もうこれはほかの23区に比べても恵まれている調布の立地を何とか生かさない手はないだろうと。先ほど野川の話もございましたが、多摩川、それから武蔵野の自然林のある深大寺、こういうようなところとの結節をどう考えて、人の流れ、それから全体的な集客能力のあるようなことをどう組み合わせせていくか。

今、最初に商業活動だけの今後ということに限定してお答えをいたしました。そういうような大きなポイントを踏まえながら、一つ一つの政策をここ数年間の間で実施していきたい、そういうふう考えています。

武子(陽)(国領町5丁目)

ありがとうございました。ただいまのお話で、商業に関して大変お力を入れていらっしゃるということを確認させていただき、私は、実は調布市産業振興の中でのチャレンジショップの1店舗を運営させていただいております。チャレンジショップはどのようなものがあるか、市長はご存じでいらっしゃいますでしょうか。

長友市長

今入っているものですか。

武子(陽)(国領町5丁目)

はい。

長友市長

今入れかえをやりましたから、今現在の店舗の業容、よく横は通るのですが、一つ一つ

のところは余り意識して立ちどまってみたことはございませんから、入れかえる前のものとのダブリもあるかもしれませんが、日用雑貨のたぐいですとか、それからアクセサリー、趣味のもの、そんなようなものが発足以来、入れかわりを含めて、あのスペースの中でアンテナショップ的に続いているなということはみておりますが。

武子（陽）（国領町5丁目）

私といたしましては、大変残念なお答えをいただいたなという感じがいたします。実は、最近、市民放送局やケーブルテレビなどで大々的に放映をさせていただいた上に、ちょっとごらんいただければ幸いなのですが、こちらの調布市 182でも取り上げられまして、現在4店舗が大変活発にやらせていただいております。

しかしながら、こちらの立地条件がいろいろ問題がございます、人通りが非常に少ないですね。国領駅にあるのは、市長、ご存じでいらっしゃいますでしょうか。

長友市長

もちろん。

武子（陽）（国領町5丁目）

国領駅のどこにあるか、ご存じでいらっしゃいますか。

長友市長

もちろん。

武子（陽）（国領町5丁目）

それはご存じでいらっしゃるということなので安心いたしました、とにかくここは人通りがございません。大勢のお客様の皆様からも「ここ、人来るの」というふうに再三再四いわれて、心配していただいております。それで、通路が大変暗いイメージで、お子様が「ここ、怖い」とか「ここ、暗いね」とかいいながら通ったりします。これはお店にとって大変イメージが悪くなるというふうなことになっており、私たちは4人とも調布市の産業の活性化ということに関して、これから前向きにやっていきたいという面々なのですが、特に私はそういうふうに思っております。

先ほど、市長様は経済的な活性化というのは、交付金を回すのは大いに疑問だというふうにおっしゃられましたが、そうではなくて、今のお話ですと、やはり商業の活性化によって、調布をますます発展させていこうというお気持ちがありました。

そういう中で、こういうマイナス点ということをチャレンジショップを統括していらっしゃる調布市の産業振興センターの方たちは大変よく認識をいらっしゃいますが、市

長様がこういうことに対して認識をしていらっしゃるのかどうか、お尋ねしたいなと思います。

長友市長

こういうことって、どういうことですか。今おっしゃった中で。

武子(陽)(国領町5丁目)

チャレンジショップで今いろいろ問題になっております。人通りがない、暗いイメージです。それから、店舗の位置のわかりづらさ。コクティの2階にございます。この中で、チャレンジショップ、ご存じの方、恐れ入ります。挙手お願いいたします(「その前にチャレンジショップって何ですか」の声あり)。ですよね。そういうふうなイメージ(「答えてからしゃべってください」の声あり)……チャレンジショップって何ですかというのがまず皆様のご意見。これが平均的な調布市の皆様のご意見なのですね。

じゃ、チャレンジショップに関しての……

司会者

済いません。ほかにも大勢の方が発言をお待ちになっていらっしゃると思いますので、簡潔にまとめていただければと思うのですが。

武子(陽)(国領町5丁目)

ですから、私どもはチャレンジショップに入っております、産業振興の一端を担わせていただいていると自負しております。先ほど市長さんがおっしゃったようなまちづくりの、つまりもっともっとよい産業振興にしていきたいという意欲があるにもかかわらず、お店自体が人通りがないがために知られていない、認知度が低い、そういうようなことをどのように改善していったらよいのかということをごぜひお答えいただきたいと思っております。

司会者

ありがとうございました。それでは、市長、お願いいたします。

長友市長

皆さん、国領のノッポビルに行かれたことは何かであると思うのですね。あくろすでいろいろ催し物がございませう。特にわかりやすくいえば、もし車で行かれた方があったら、あの駐車場から入ったところからエレベーターホールのほうへ入っていくあたりに今のお話のチャレンジショップというものを設けておりまして、先ほど私が若干申し上げましたように、ここに写真入りのものも今提供していただいたのですが、その販路を

開拓するのに大変意欲的な方の雑貨でありますとか、アクセサリ製品でありますとか、そういうようなものを、スペースはそう広くはないのですが、そこに展示いただいております。私どもが産業振興の一環として設けているスペースであります。

意識しなくても、そこを通られて、ああ、あれかというふうに今思われた方は多々おられると思います。それで、今の……

武子（陽）（国領町5丁目）

ちょっと待ってください。いらっしゃいますか（「はい」の声あり）。お1人ですね。ありがとうございました。

長友市長

それで、私は今おっしゃったように、あそこが1日じゅう、人通りがそんなにたくさんありますかといわれれば、いや、そうではないでしょうねと。それは認めるにやぶさかではありませんよ。それは繁華街の商店街の一角につくっているわけじゃございませんから、それはそうです。

それはそうだということと、それはせっかくつくっているのだから、何とかもっともっと振興して、改善点があればというのはおっしゃるとおりです。コクティーの認知1つにしても、やはりなかなか時間がかかってここまで来ているというのが率直なところなのです。国領駅をおりてから、あのビルの中に市の公的なスペースがあるということ自体ももっとPRしないとったいないよという話をずっといただいてきていて、今でもまだ不十分といわれれば、改善していきますが、下からみて、最初は表示すらなかったところから早く改善しなければというような感じで来てはおります。

ただ、あそこが逆にいって、例えば、歌舞伎町の往来のような感じになるかということ、それはこれからもそんなことはないわけでありまして、私どもは、あそこにチャレンジショップがあって、非常に興味がある、いいものが陳列されておりますよと。皆さん、そういうショップがあることをまず認識してくださいよというような努力は今後とももちろん続けていくつもりではございます。

そのために入っておられて、もう既に入れかわったのですが、前の方のいろいろご意見などもいただきながら、できることを手がけているというのが現状になっております。

武子（陽）（国領町5丁目）

ありがとうございました。

武子（雅）（国領町5丁目）

今お渡ししたデータがチャレンジショップそのものの認知度を調べたものです。

武子（陽）（国領町5丁目）

濟いません。ピンクドルフィンの経理です。

武子（雅）（国領町5丁目）

市役所の受付すら知りません。その内容は、日付、それからどこで調べたか、そのときにどういう対応があったか、それを全部並べたものですが、それをごらんいただければ、市役所本庁の受付も説明ができません。それから、たづくりの受付も説明ができません。そういうような状態にあるということをご認識されていましたが。

長友市長

今おっしゃった市役所の受付とたづくりの受付に行って聞いてみたけれども、どうだったかということは今までだれからも伺ったことはありませんから、今、初めてです。

司会者

それでは、次の方.....

武子（陽）（国領町5丁目）

申しわけない。もう一言。陳列.....

司会者

まだほかにも今ごらんのように挙手されている方がいらっしゃいますので、ひとまずほかの方にお譲りしたいと思います。

武子（陽）（国領町5丁目）

困ります。陳列という言葉をお願いしたのですが、陳列というのは、商品をただ置いてあるわけではございません。私たちはちゃんとした.....

司会者

わかりました。ご主張なされたいことは.....きょうのふれあいトークというの是最初にもお話し申し上げましたけれども、お1人3分程度でまとめていただくということで皆様とお約束させていただいておりますので、それをご理解いただきたいと思います。

武子（陽）（国領町5丁目）

では、次回にまた。

司会者

それでは、一番奥の方。

斎藤（富士見町4丁目）

4丁目の斎藤と申します。

私も初めて話すのですが、調布に引っ越して50年以上いるわけですが、1つは、先ほど市民課の対応という男の方がいましたが、平成2年に私のほうの並びの道路が、今から17年前ですか。生活道路ですね。8メートル道路整備済と。道路課の7階ですね。それで実は、斎藤さん、やってくれとみんなにいわれまして、代表で交渉しまして、道路課に行きまして、ここは7メートル道路ですよということで、皆さんと集まって話したのですね。そうしたら、市役所の7階に行きましたら、地図で8メートル整備済と。整備済って何ですかと聞きまして、当時は吉尾市長ですが、それで、実はこれは7メートルですよ。それは子供さんの歩くものをつくりたいと。歩道ですね。石原小学校だとか、いろいろできていますので。

それで話しましたら、いや、もう前の方はみんな定年でいないのだと。わからんと。それで、道路課の2人の方とみんなで話しましたら、申しわけないけど、わからんと。そんなずさんな管理をしているのかということで、これで結構もめまして、何だかんだ、みんな九十何センチ下がったわけです。十何軒が。結果的に寄附じゃないけど、負けたわけですが、そろそろ市役所とはやめようと。これ、幾らいってもらちが明かないし、前の道路担当者はもう定年でいないからわからんと。私たち、わかりませんと。それでどんどん工事が始まったわけですね。

それで、結局、平成2年で納得して、みんなそれぞれ減らされたのですが、その道路課の方の若い2人は非常にいい方なのです。ただ、らちが明かないから、またぶり返しまして、たまたま市役所の道路課へ行って、おお、元気かいと話したら、また別の方が出てきて、今度は対応が一変しまして、何かやくざかなと思うぐらいの対応なのです。実はもう解決したからいいよと。だけど、あなたたちの態度は何だと。そういう対応で、一時終わったんです。ですから、市民課の対応はいいですけど、私たちも道路課の方とそういう経験をしたことがあります。

それから、もう一点なのですが、そこを出ますと、今、浄水場のところに公園ができましたね。あそこ、私も孫と散歩するのですが、それで遊ぶのですが、2歳の女の子ですが、そうすると、あの公園自体が非常に近代的で危ないのですね。丸く囲ってありまして、みえない状態で滑ってくるのですね。それで、急な階段。私も昔、学生時代は運動部でしたから大丈夫だろうと思って、孫を待つのですが、非常に危険な遊園地なのです。もう少し簡単な遊園地というか、お子さんが行くのだから。それが1点ですね。

それからあと、あそこの公園を観じて、非常に汚いですね。ごみ箱がないのですね。それから、中学生か何か知らないですが、もうめっちゃめっちゃにごみが捨ててあるのですよ。何という公園だろうと、私、感じまして、私も年金暮らしですが。

それから、トイレ。あそこはみんな利用するのですね。結構トラックの方が一、二。それから、とまって。あのトイレの汚さ。管理が何にもなってないのですよ。

特にごみと、看板1つ、ごみを捨てないでくださいってやっつくったみたいですが、ごみ箱がない、トイレが汚い、それから立派な遊園地をつくってあるのにも限らず、非常に小さい子が危険な遊園地だと。さんの前のほうがまだかわいい遊園地ですわ。あそこの高速道路の下は。こっちは非常に遊びづらい。あれをひとつ変えるといっちゃおかしいですが、あんなプールに飛び込むような丸い隠れたやつですか。あれでもし引っかけたら、私は助けられないですよ。2～3歳の子が中で引っかけた場合。どこまで連れてきたらいいのか。みえませんか。あくまでも丸く、びやっと。ああいう公園は小さい子にはちょっと危険だなと思ひまして、事故が起きる前に長友市長にちょっと助言というか、改良の余地があるのか。ごみと汚さ。この2点だけです。

司会者

ありがとうございました。では、市長、お願いします。

長友市長

ありがとうございました。せっかくきれいなものをつくったのにそういうことではというのは、今ご意見をいただきましたから、危険な部分と、それから、もっと気になるのは、平生少し汚いと。トイレも含めてという。こっちはとにかく考えるよりも前に、まずすぐ手を打つということでしょうから、すぐ伝えて、それから、危険というのは、ちょっとほかの方のご意見も伺ってみて、今おっしゃったように、年齢に応じてはちょっとどうかなというものなのかどうかということも確認させていただいてお答えしますので、よろしくをお願いします。

司会者

よろしいでしょうか。では、真ん中のテーブルのページのプレザーの方。

浅川（富士見町2丁目）

富士見町2丁目の浅川と申します。

コープ調布ですが、自治会を先年度やっておりまして、1つは防災関係なのですが、実はマンションなものですから、自治会に加盟されない方もおられるわけですね。市として

はこれらに対する、本来なら自治会でもやるべきなのですが、これは総体的に起きてきていることではないかなと思うのですが、防災上から考えて、こういうものに対する、例えば、備蓄の問題なんかもあると思うのですが、自治会の位置づけを防災上どのように考えておられるのか、少しご説明をいただきたいと。これは加盟していない人たちの扱いの問題も含めて、もし考えがあったらお聞かせ願いたいと思っています。これが1点です。

それから、あと、来年の4月からいわゆる後期高齢者の医療制度ができるわけですね。75歳以上は別扱いしますということなのですが、これの説明といいますか、出前講座みたいな形で、パンフ、その他は出るだろうと思うのですが、そんなふうなことが考えられるかどうか。これは1つの考え方としてお聞かせいただきたいと思います。

それから、もう一点は、最近傾向としてふえてまいりました。私のところでも孫のほうに関連するのですが、発達障害の子供たちの取り扱いが大分ふえてきているようにお伺いしているのです。学校の対策が調布市は何かモデルになっているみたいな話を聞いているのですが、調布市の中でどのくらいの数の子がおられて、これにどのような対応をされようとしているのか、少しご説明いただければありがたいなと思います。すぐでなくても結構ですが、トータル的にどんな数字になっておられるのか、お聞かせいただきたいと思います。

それから、あとは、先ほどのまちおこしの関係なのですが、実は、私、定年になったときに、電通大で市民講座がありまして、それに参加させていただいたときに、何か提言をしようということなので、とんでもないことを提案したのです。甲州街道をとめて、時間を設けて、そこで大道芸人を呼んで、東京都がせっかくやっているわけですから、少しまちおこしをやったらどうですかという提起を申し上げたことがあるのですね。たまたま市長がたしか今回立候補された中にそんなふうな話があったような記憶をしているのですが、もしまちおこしの関係でそんなようなことがあるとすれば、どんなことだろうかと。ただ、交通上の問題とか、いろいろと障害があることは百も承知なのですが、お聞かせいただければありがたいと思っています。

以上です。

司会者

ありがとうございました。

長友市長

ほかに手を挙げておられる方がおられるので、なるべく手短かにやります。

防災。自治連協に加盟しているか、加盟していないかということですか。それとも自治会に入っているか、入っていないか、個人の話ですか。

浅川（富士見町2丁目）

マンションでは、数的にもう入っておられない方が随分いるわけですよ。そういう人たちの防災上の扱いの問題なんかは……

長友市長

自治会に入っていない人のことですか。

浅川（富士見町2丁目）

そうです。そういう扱いをどのように考えておられるのか。

長友市長

やっぱり自治会というのは、私ども、防災上も大変重要な拠点だと思っておりますから、そういう観点でいえば、なるべく入ってくださいと、まずはいわざるを得ないのですが、強制力を発動できる問題ではありませんから、それはやっぱり広報して、自治会を通して周知徹底するようなものも、なるべく個人として知っていただくようにと。そういうこともあり、これ、自治会問題だけじゃないですが、市報を戸別配布にしたというのはそういうことありまして、市報に我々の重要事項を掲載させていただくものをみんなに周知したいという気持ちで、なるべく自治会に入ってください、また取りまとめていただくのがありがたいとは思っておりますが、なるべくそうでない方のことも可能な限り考えながらやっていかなきゃいかんと思っております。

後期高齢者の扱いの問題について。出前講座、大変いいのじゃないでしょうか。今までも、例えば、今度の税の問題だとか、ごみの問題だとか、いろいろリクエストに応じて各課が出動しておりますから、このテーマに関してもお申し出に従って、そういう場を確保するように考えていきたいと思っております。

発達障害については、きょう私、説明を受ける時間があつたのですが、資料をもってこなかったもので、今、実情をぱっとおみせできないのが残念なのですが、拡充しております。それから、人口割りにすると、調布は割と充実しているというふうな説明を受けております。今後とも学校にそういう場を設けられるようにということを充実させていきたい。そのためには必要な補正も含めて、予算措置を講じていきたいと思っております。

あと、最後のところで、ジャグリングというのかな。夢のある話で、私個人的には賛成だと申し上げますが、なかなかそれを実現させるというのは、そう簡単じゃないという気

がしております。ほかにも、東京オリンピックのときの夢をもう一度で、マラソンの招致だとか、いろいろな提案をいただくことはありまして、そういうことを積極的にいっていただいて、我々が何かの機会のときにそういうことを 今度、国体もある、オリンピックも一部やることになるというようなときにあわせて実現できればいいのになというふうには思いますので、ぜひいいアイデアがあれば、いただければと思います。

司会者

残りもうわずかとなってまいりましたので、それでは、真ん中のテーブルのご婦人の方。

福田（布田5丁目）

私は布田5丁目の福田と申します。

先ほどこちらの男性が新聞に載った職員の方の旅費の水増しの件に関して質問をされたかと思うのですが、その中で厳しい処分をしてほしいということをおっしゃったかと思うのですが、市長は、今は現実にやっていて、こういうことがないようにしていくと。処分のことに関しては何も言及なさっていらっしゃらなかったと思うのですね。私はこのことは刑事事件であって、横領の容疑があると。私はそう思っています。きちっとその当時に処分をしていないから、このように内部告発があったと私は思っております。じゃ、はっきり現在きちとした処分をなさるのかどうかということをお伺いしたいのです。

それともう1つは、口頭で8人の方に厳密に注意をなされた。そういうことを私は市民部長さんとか、そこの納税課の上の方に聞きましたが、これは口頭で注意するようなことではないのです。きちとした処分をしなければならないということと、反対に子供が何かやって、お父さんが注意するというようなものとは違います。口頭で注意した上司の方もやはり処分の対象にならなければならないと私は思っています。

それで、今、納税課の方たちは、4年前のことであっても、この件に関して大変に申しわけない、申しわけないとおっしゃっておられるのですが、これから納税の時期になると、7月1日が第1期ですが、こういうことが納税課で起こると、私どもは信用して自分たちの税金をきちっとお使いになるということの気持ちを担保にして税金を払っているわけですから、そういう税金をこのように、先ほど市長がおっしゃいましたけども、ルーズであった。それから、そのシステムを今厳選しているということ、それから出張するときに、ルートが思っていたところとまた違っていたとか、そういうことをおっしゃいましたが、出張とか、そういうのは毎年あることではないかと思うのですね。私も納税課に聞きましたらば、そういうふうな変化があるから、出張費のお支払いに関して、申請する

ときにちょっと混乱してしまったと。そういう回答がきたのですが、そんなことは何の釈明にもならなくて、わからなければ、前いた人に聞けばいいわけですから、これはきちっと処分の対象を考えていかなければ、私どもも税金を払う気持ちがちょっと後退してしまうというようなところはないとはいえません。

それともう一点ですが、選挙のときに長友さんは漁さんの選挙カーに乗ってスピーチをなさったかどうかわかりませんが、それは私ども市民の気持ちとちょっとそぐわない。といいますのは、昨年10月5日号で、手をつなぐ樹という長友さんのところで、調布市では、職員が飲酒運転をしたときには厳密に免職となりますと書いておられて、その上に、職員の家族の方にもそれに協力してくださいというお手紙を書かれたかと思うのですが、そういうところでそういうことをおっしゃっておきながら、漁さんは去年飲酒運転をして、どんな処分を受けたか知りませんが、立候補することは自由ですけれども、そういう方の選挙カーに乗るとするのは、私ども市民としては納得できないから、市長のお考えを伺いたい。

この2つです。

司会者

ありがとうございました。

長友市長

ありがとうございました。旅費の件は最初の吉田さんのご質問の中にもあって、今、福田さんがおっしゃったようなことを私がお答えを申し上げたわけですが、私どもは監査中のチェックで指摘を受けて、やっぱりこういうことがあってはいけないというのは最初に申し上げたとおりであります。それから、やはり市政をあずかる者として大変申しわけないというふうに最初申し上げましたが、それもそのとおりであります。

ただ、これはやはり私は、異論はあると思いますが、必ずしも福田さんがおっしゃったようには受け取っているわけではありません。多少ルート変更の際の精算ということに関して、いいとはいわないけれども、やはり扱いが甘かった、ルーズであったということの中でこれが起こって、何回もいいますが、もちろんいいとは思っておりませんので、おわびをしなければいけない問題だとは思っておりますし、その後そういうことは絶対にないように、ルーズで済まされる話ではないので、精算のときに、ルート変更が起こって、過不足は両方生じていたのではないかと思います、やはりそういうようなことが慣例として続いてきたということがこのようなことが起きた原因でありますので、それを絶つとともに、

そういう対象になった職員に対しては、現に私どものほうで、その時点で厳しく注意をしたということでもあります。

それから、第2点目に関しまして、ご批判が福田さんだけではなくてあること、もちろん私は承知しておりますし、個人的にもそのような指摘を今までにも受けてきております。これに対しても、私は、やはりこの飲酒問題に関して、全国的により厳しい目が多くなってきている中でのこととしては、皆様方のご批判は甘んじて受けたいと思っております。ただし、私は漁さんを応援いたしました。漁さんだけではございませんが、何人かの候補者を応援させていただきました。漁議員は飲酒事件が発覚したということで、みずから責任をとって議員を辞職されました。辞職した上で、皆さん方の審判を仰ぐということで、あえてまた立候補されました。私はその方を応援したということに関しては、これは厳然たる事実でございますので、そのことが適切でないというご批判が福田さんならずあるということは、やはり重く受けとめております。それ以上のことといわれても、この4月のことでありますが、私はそういうようなことに対しての厳しさというものを改めて今後の自分の市政に生かしていかなければいけないと思っております。

福田（布田5丁目）

8人の方に対して、処分をなさるのか、なさらないのか。ただ厳重に注意するということにしてあって、処分をするのか、しないのか。例えば、4年前のことですが、お給料を減らすとか、何か市民にそういうものを示していかないと、10人に聞いても、それはやっぱり何かあるべきだというふうに答えが返ってくるのですね。口で注意しただけだったら、どんなことをやっても注意されればいっていい。

それとあと、お金の問題ですから、これは本当に処分の気持ちが市長に市長がなさるかどうかわかりませんが、あるのかないのかを聞きたいのです。この件に関してするか、しないのか。

長友市長

今の時点では考えておりません。

司会者

本日もたくさんのお話を伺うことができました、予定の時刻となりました。これで終了（「まだ」の声あり）……では、端的に。

塚本（富士見町3丁目）

大したことじゃないのですが、さっきの斎藤君の公園のことですが、あそこにだれでも

トイレというのがあるのですね。身障者も入れるトイレで、うちの孫なんかもまだ1歳なのですが、おむつを取りかえたりする場所もあるのですが、そこが中学生だか、だれかに壊されちゃって、そのまま閉まっちゃったまでもう半年ぐらいおいてあるのですね。あそこを入ってみると、当分の間って書いてあるのですが、当分の間というのが半年なのか何日なのかわからないが、少なくともうちの子、上の子を連れて、下の子を連れていったら、おむつをかえるのに、そこがないから、外で変えなきゃいけないのですよ。壊されちゃったから、すぐつくらないというのもおかしな話だし、やっぱりそれがせつかくあるなら、そこをすぐ作り直してもらいたいというのが1つと、身障者用の駐車場があって、そこにはほとんど身障者じゃなくて健常者がとめちゃっているのですよ。身障者は来ない。現実というと、来ても、今あのトイレがないからトイレに入れない。だから、それだと仏つくって魂入れずみたいな感じなので、市長さん、早急にみていただけるとのことなので、ぜひだれでもトイレのこと、それから駐車場のこと。

それから、遊具に関していえば、斎藤君のところは小さいけれども、うちの子はもうちょっと大きいから、今大丈夫なのですが、年齢に合わせたものだろうと思うから、その辺は検討する余地があるかもしれませんが、トイレのことに関してはよろしく願います。

司会者

ありがとうございました。

長友市長

確認してお答えします。

司会者

それでは、改めまして、本日もたくさんのご意見を伺うことができました。予定の時刻を過ぎましたので、これでふれあいトークングを終了させていただきます。

なお、本日皆様からいただきましたご意見、ご要望、ご質問につきまして、持ち帰って回答をさせていただきますと申し上げた事項につきましては、できるだけ早く回答を差し上げるようにいたしますが、内容によっては、若干時間をいただくようなこともございます。その辺はご容赦をいただきたいと思います。

長友市長

基準は、時間がかかるという案内も含めて1週間以内といっていますから、それを過ぎても何もなかったらいつでもください。

司会者

それでは、次回のご案内です。次回、第4回目の市長と語るふれあいトークは7月18日水曜日午後7時から金子地域福祉センターでの開催を予定しております。

それでは、これもちまして、終了させていただきます。どうもご協力ありがとうございました。

閉会 午後9時7分